

[HOME](#)

アクション進捗状況

- [戦略1](#) 新たな市場の開拓 [»](#)
- [戦略2](#) 価値創造に向けた基盤強化 [»](#)
- [戦略3](#) 開拓、創造のための業務効率化 [»](#)
- [戦略4](#) グローバルな事業展開と人材確保 [»](#)
- [戦略5](#) フラットで柔軟な組織づくりと人材育成 [»](#)
- [戦略6](#) 多様な働き方を促進する環境づくり [»](#)
- [戦略7](#) 営業力と発信力の強化 [»](#)

[HOME](#)

[HOME](#) / [アクション進捗状況](#)

戦略1 新たな市場の開拓

1-1 新規事業への挑戦

»

1-2 事業ドメインの拡大

»

1-3 ビジネスインキュベーションを推進する仕組みの検討

»

1-4 ビジネスアライアンスの構築

»

[HOME](#)

NIKKEN SEKKEI CONSTRUCTION MANAGEMENT

[HOME](#) / [アクション進捗状況](#)

戦略2 価値創造に向けた基盤強化

2-1 マネジメント技術の基盤強化

»

2-2 ソリューション技術の基盤強化

»

2-3 組織的なナレッジの構築と活用

»

2-4 LCM領域のリブランディング

»

2-5 魅力あるサービスパッケージの開発による業務報酬の向上

»

[HOME](#)

NIKKEN SEKKEI CONSTRUCTION MANAGEMENT

[HOME](#) / [アクション進捗状況](#)

戦略3 開拓、創造のための業務効率化

3-1 業務プロセス改革



[HOME](#)

NIKKEN SEKKEI CONSTRUCTION MANAGEMENT

[HOME](#) / [アクション進捗状況](#)

戦略4 グローバルな事業展開と人材確保

4-1 グローバルマーケットに対する営業戦略の策定と実行

»

4-2 グローバル人材の確保と組織整備

»

4-3 社員のグローバル教育

»

[HOME](#)

NIKKEN SEKKEI CONSTRUCTION MANAGEMENT

[HOME](#) / [アクション進捗状況](#)

戦略5 フラットで柔軟な組織づくりと人材育成

- 5-1 マネジメントコンサルティングファーム型組織の構築 [»](#)
- 5-2 マネジメントコンサルティングファームにふさわしい人事制度の改定 [»](#)
- 5-3 人材の適正性が判断可能な採用戦略の策定 [»](#)
- 5-4 キャリアプランの構築と人材育成計画 [»](#)
- 5-5 情報漏洩リスクマネジメントの強化 [»](#)
- 5-6 コンプライアンス遵守 [»](#)

[HOME](#)

[HOME](#) / [アクション進捗状況](#)

戦略6 多様な働き方を促進する環境づくり

6-1 多様な働き方の実現



6-2 ワークプレイス改革



6-3 健康活動の支援、福利厚生の実施



6-4 自己実現支援



6-5 コミュニケーション活性化



[HOME](#)

NIKKEN SEKKEI CONSTRUCTION MANAGEMENT

[HOME](#) / [アクション進捗状況](#)

戦略7 営業力と発信力の強化

7-1 営業力の強化



7-2 発信力の強化



7-3 社名変更



[HOME](#)

NIKKEN SEKKEI CONSTRUCTION MANAGEMENT

1-1 新規事業への挑戦

関連戦略 1-3 1-4 6-5 7-2



目的

- 1. BIMやICT/IoT等の最新のテクノロジーを利用し、建設生産システムのデジタルディスラプションに挑戦する。
- 2. 社会やクライアントのニーズを的確に把握し、既存の業務領域の枠を超えた新規事業の開発を行う。

a. BIMを通じた建築生産改革等
b. 新規事業への挑戦
c. 新規事業領域開拓チームの設立による実行体制の強化
担当役員 ★服部裕一
実行主体 新規領域開拓チーム
実行者 ●吉本圭二、高田敏光、中林孝了、上ノ町圭一、吉岡優一、平山英幸、西野祐樹



最終更新日：2021年01月08日 最終更新者名：服部

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
□ a. BIMを通じた建築生産改革等													▲
1. 「やさしいBIM」の開発	60%以上	概算算出や発注に最適なLODの検討 「やさしいBIM」の定義設定 「やさしいBIM」の商標出願・登録											
2. BIMによるマネジメント手法の開発	60%以上	日建や住商PJによる手法の検討 マネジメント手法の具体検討											
3. BIMを利用した新たな発注方式の検討	着手中	BIM-ECコンソーシアムへの参加 ECの課題検討											
4. BIM-FMシステムの開発と実用化	着手中	システムの構築開始											
□ b. 新規事業への挑戦													
1. 新規事業アイデアの汲み取り	60%以上	継続的なアイデアの収集											
2. 既存事業領域の枠を超えた事業の検討	60%以上	ターゲットの選定											
3. ICT等の技術を利用した新たな事業の検討	着手中	日建設計DX連絡会への参画 事業の可能性検討											
4. 新規領域開拓に向けた外部ネットワーク構築	60%以上	WeWorkの利用開始 ネットワークを利用した情報収集											
□ c. 新規事業領域開拓チームの設立による実行体制の強化													
1. 新規領域開拓チームの設立と活動実践	進行完了	具体的な事業ターゲットの選定 新規事業のビジネス化											
2. 日建グループと連携した新規事業開拓	60%以上	ソリューションG、IoT推進室、イノベーションセンターとの連携、 連携内容や事業の具体に関する検討											
3. 外部アライアンス、ネットワークの構築	進行完了	ネットワークを利用した情報収集 WeWorkの利用開始、情報収集											
4. チーム活動内容の広報や発信の強化	60%以上	Workでの活動開始、ジャンボリー開催 継続的な情報発信と活動の広報											

HOME / アクション進捗状況 / 戦略1 新たな市場の開拓

1-2 事業ドメインの拡大

関連戦略 1-1 1-4 6-5



目的

社会やクライアントのニーズを把握しながら現業状況を的確に分析し、NCMのさらなる発展を目指す。既存の業務領域の枠を超えた事業ドメインとして不動産領域をターゲットとし、具体的な行動を実践する。

a. AM・PM/CRE・FM領域への拡張
b. 資産譲渡・取得支援・オーナー事業への拡張
担当役員 ★服部裕一
実行主体 事業性検討G
実行者 ●小暮恒介、東利彦、板野敦生、伊藤雅



最終更新日：2020年12月22日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
☐ a. AM・PM/CRE・FM領域への拡張													
1.CRE関連業務の拡大展開	60%以上	ターゲットを絞ったCR活動の実践											
2.事業性コンサル業務の拡大展開	60%以上	事業性検討業務の積極的な実践 あすか製薬他における業務実践											
3.AM業務への展開	着手中	業務実施に向けたアライアンスの検討 課題や業務実施の可能性検討											
4.PM業務への展開	着手中	業務実施に向けたアライアンスの検討 課題や業務実施の可能性検討											
☐ b. 資産譲渡・取得支援・オーナー事業への拡張													
1.宅建取引業の免許取得	進行完了												
2.不動産オーナー事業の実行	着手中	日建設計プロジェクトへの準備 日建設計プロジェクトへの参画											
3.最適な発注方式(分離発注他)の構築	着手中	課題把握とBIM-ECとの連携検討 具体的な発注方式の検討とBIM-ECとの連携											

1-3 ビジネスインキュベーションを推進する仕組みの検討

関連戦略 **1-1** **7-2**



目的

会社が定めた枠組みにはまることなく、意識の高い個々の役職員の自由な活動から生まれるアイデアをオープンに受け入れ、迅速に実行に移す。

担当役員	★田中康範
実行主体	経営企画会議
実行者	●山本健二、阿部芳久、櫛谷拓巨、去川順子



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

[illegible]

1-4 ビジネスアライアンスの構築

関連戦略 1-1 1-2 6-5 7-1



目的

新規事業開発に必要な専門ノウハウの調達手段として、また、質、量、効率の補完を目的として、積極的なビジネスアライアンスの構築を行う。

LONG-LISTを作成し、アライアンス候補をピックアップ。covid-19影響で止まっていたへのヒアリングを再開しています。

プロジェクトを通して、ご担当の尽力もあり、ワークスタイル/ワークプレイス（佐々木康さん）、オフィス・商業マーケット（佐藤久さん）等のアライアンスが進んでいます。

担当役員 | ★鶴巻真一、服部裕一、田中康範
実行主体 | 経営企画会議、新規領域開拓チーム
実行者 | ●阿部芳久、上ノ町圭一、吉岡優一、吉本圭二



最終更新日：2020年12月23日 最終更新者名：鶴巻

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.新規事業領域開発のためのアライアンス	着手中	着手、領域を整理、パートナー業種検討 コロナ中断						プロジェクト毎に於けるアライアンス検討/office系、マーケティング					
		ヒアリング											
2.地域ネットワーク構築のためのアライアンス	60%以上	着手、エリア整理、パートナー業種検討											
		ヒアリング											
3.質と量を補うためのアライアンス	着手中	着手、戦略検討、パートナー業種検討 コロナ中断											
		ヒアリング											
4.CR活動におけるアライアンス	着手中	着手、戦略検討、パートナー業種検討 コロナ中断										ヒアリング再開	
		ヒアリング											

2-1 マネジメント技術の基盤強化

関連戦略 2-2 2-3 5-4



目的

NCMの基盤であるマネジメント技術を属人的な技術に頼ることなく、すべての職員が会得し提供できるよう、マネジメント技術を集約・体系化し、育成の仕組みをつくることで基盤を強化する。

a. 育成プログラムの実施

担当役員 ★古川伸也
実行主体 研修委員会
実行者 ●車司太郎、菅原幸也、早崎敬一、森健一、今西聡、立石一成、松尾忠明

b. マネジメント教本の配布と実践

担当役員 ★古川伸也
実行主体 ナレッジマネジメントG
実行者 ●粟飯原薫、今西聡、鈴木勝之、松岡秀典、江原奨、小田史織、河内邦彦、佐久間周一、廣野大樹、菊地佳南



最終更新日：2020年12月22日 最終更新者名：古川 伸也

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
☐ a. 育成プログラムの実施													
1. 研修体系全般の検討、見直し	60%以上	着手 新研修体系を公表 2020年度の研修体系の見直し											
2. 技術会議の内容検討、開催	60%以上	着手 2020年度の技術会議の検討・実施											
3. 日建G・協会・外部講座の把握と受講促進	60%以上	着手 2020年度の講座の調整・情報提供・受講促進											
4. 新規研修プログラム検討、実施	60%以上	検討・開催 着手 方針確定、研修開始											
☐ b. マネジメント教本の配布と実践													
1. CMツールの見直し	60%以上	検討中 教本発刊に合わせ見直し完了予定											
2. ドキュメントデザインの見直し	60%以上	2020年度の更なる見直し クヨに外部委託契約済み 教本発刊に合わせ見直し完了予定											
3. 関連資料、リンク先の体系化	60%以上	調査中 教本発刊に合わせ見直し完了予定											
4. 原稿執筆、査読、編集、制作、発行	60%以上	着手 PDF版発行 PDF改訂版発行 CM技法（海外・LCM）の執筆・編集・発行											

2-2 ソリューション技術の基盤強化

関連戦略 2-1 2-3 2-4 5-4



目的
より高度な専門技術力を用いたソリューション力を組織として保有できるよう、日建設グループや外部組織とのネットワークを強化するとともに、その技術の集約・体系化と育成の仕組みをつくることで基盤を強化する。

- a. 育成プログラムの実施

担当役員 ★古川伸也

実行主体 研修委員会

実行者 ●車司太郎、菅原幸也、早崎敬一、森健一、今西聡、立石一成、松尾忠明
- b. ソリューション教本の配布と実践

担当役員 ★古川伸也

実行主体 ナレッジマネジメントG

実行者 ●栗飯原薫、今西聡、鈴木勝之、松岡秀典、江原奨、小田史織、河内邦彦、佐久間周一、廣野大樹、菊地佳南



最終更新日：2020年12月22日 最終更新者名：古川 伸也

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
a. 育成プログラムの実施													
1.研修体系全般の検討、見直し	60%以上	着手 新研修体系を公表											
2.技術会議の内容検討、開催	60%以上	検討・開催 順次企画、開催中 2020年度の技術会議の検討・開催											
3.日建G・協会・外部講座の把握と受講促進	60%以上	着手 外部講座を公表、促進											
4.新規研修プログラム検討、実施	60%以上	検討着手 研修実施											
b. ソリューション教本の配布と実践													
1.CMツールの見直し	60%以上				ツール見直しの実施 着手								
2.ドキュメントデザインの見直し	60%以上				デザイン見直し 着手								
3.関連資料、リンク先の体系化	60%以上				体系化実施								
4.原稿執筆、査読、編集、制作、発行	60%以上				執筆、編集 着手 査読、校正、発行								

2-3 組織的なナレッジの構築と活用

関連戦略 2-1 2-2 3-1 6-5



目的

社内外に散在する知識の集約と体系化とその活用に向けた戦略づくりと、業務効率化・生産性向上・業務品質向上に向けた各種マニュアル・システム・データベースなどの基盤整備を行う。

a. ナレッジマネジメントの包括的戦略構築
b. 知識の活用・業務効率化に向けた整備
担当役員 ★古川伸也、鶴巻真一
実行主体 ナレッジマネジメントG
実行者 ●栗飯原薫、今西聡、鈴木勝之、松岡秀典、江原奨、小田史織、河内邦彦、佐久間周一、廣野大樹、菊地住南



c. 高度な解決策提供基盤の構築
d. 技術交流ネットワークの強化
担当役員 ★鶴巻真一、古川伸也
実行主体 ナレッジマネジメントG
実行者 ●東利彦、鈴木勝之、松岡秀典、江原奨、杉浦智也、小田史織、河内邦彦、佐久間周一



最終更新日：2020年12月23日 最終更新者名：古川 伸也

2020年

実行項目	進捗	2020年												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Ⅱ a. ナレッジマネジメントの包括的戦略構築														
1.ナレッジに関する現状把握	進行完了	現状把握は概ね完了												
2.改善の方向性と戦略立案	60%以上	戦略策定												
3.ナレッジマネジメント体系構築	60%以上	体系構築			コンテンツの充実									
4.個別の施策の推進計画策定・実行	60%以上	計画策定開始 継続して活動・具体化												
Ⅱ b. 知識の活用・業務効率化に向けた整備														
1.ナレッジの共有システムの開発	60%以上	外部委託の検討・協議開始 着手				2021年中に稼働				再検討				
2.業務効率化ツールの開発	60%以上	着手 年内継続して活動、次年度も継続												
3.定型書式の整備、ツール化	60%以上						教本第2弾に合わせた整備							
4.知財管理に関する制度化	60%以上	教本 PDF 版に合わせ、完了												
		制度化完了予定												
Ⅱ c. 高度な解決策提供基盤の構築														
1.スキルマップ見直し	着手中	着手 新人事制度に合わせた見直し 過去実績 フェーズ、アイテム項目出し 整備依頼 整備編集												
2.プロジェクトで構築した技術の展開	着手中	2020年度の検討			過去実績 フェーズ、アイテム項目出し		整備依頼 整備編集							
3.LABで構築したノウハウの展開	着手中	2020年度の継続検討			過去実績 フェーズ、アイテム項目出し		整備依頼 整備編集							
4.インシデント管理と情報共有	着手中	2020年度の継続検討			過去実績 フェーズ、アイテム項目出し		整備依頼 整備編集							
Ⅱ d. 技術交流ネットワークの強化														
1.ネットワーク先候補の把握と絞り込み	着手中	ネットワーク先確定			過去実績洗い出し アライアンスと連動 適宜意見募集		窓口選定		ポータル整備・UP					
2.ネットワーク先毎の担当の選定	着手中	着手 担当確定			過去実績洗い出し アライアンスと連動 適宜意見募集		窓口選定		ポータル整備・UP					
3.各外部組織等の選定と入会	着手中	選定、次年度入会			情報実績洗い出し アライアンスと連動 適宜意見募集		窓口選定		ポータル整備・UP					
4.技術交流プログラムの企画・運営	着手中	企画案検討、実施に向けた検討			過去実績洗い出し アライアンスと連動 適宜意見募集		窓口選定		ポータル整備・UP					
		< >												

達成度
50%

担当役員	★田中康範
実行主体	LCMグループ
実行者	●石坪章、早崎理、井上隆文、加藤秀雄



2020年

[illegible]

2-5 魅力あるサービスパッケージの開発による業務報酬の向上

関連戦略 2-4



目的

NCMとしての独自の業務報酬基準を設定することにより、より柔軟な価格交渉を行うとともに、報酬のアップを図る。

顧客のニーズを分析の上、営業用サービスパッケージの作成を検討する。

a. 業務報酬基準の策定と周知
担当役員 ★平石 謙
実行主体 CRグループ
実行者 ●阿部 芳久、合志 真宏、中田 優子、小田 史織



b. サービスパッケージの開発
担当役員 ★服部 裕一
実行主体 CR戦略会議
実行者 ●清藤 幹雄、石坪 章、中田 優子



最終更新日：2020年12月22日 最終更新者名：

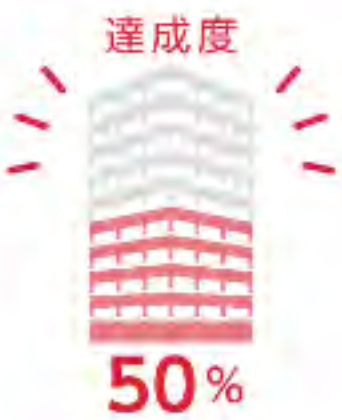
2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
☐ a. 業務報酬基準の策定と周知													
1. 日建設計に準拠してNCM報酬基準を策定	進行完了												
2. 業務報酬基準の周知	進行完了	新業務報酬基準の周知											
		浸透度合い検証											
3. 浸透度合いの分析	進行完了												
4. 次期基準を独自基準か日建準拠かを決定	未実施	基準検討・決定											
☐ b. サービスパッケージの開発													
1. クライアントニーズ分析(CS調査)	進行完了												
2. サービスパッケージの開発	着手中	現状業務状況の把握と分析											
		パッケージの可能性検討											
3. 新サービスのCR活動	未実施	新サービスのCR活動方針策定とCR活動											
							</						

HOME / アクション進捗状況 / 戦略3 開拓、創造のための業務効率化

3-1 業務プロセス改革

関連戦略 2-3 5-5 6-2



目的
創造的でより付加価値の高いサービスを提供するため、現状の業務をより効率化するとともに、確実な業務遂行、プロセスのトレーサビリティの確保、業務品質の向上に向けた業務の進め方の改革を行う。

a. 業務内容の分析とプロセスの改善
担当役員 ★古川伸也、鶴巻真一
実行主体 プロセス改革WG、ナレッジマネジメントG
実行者 ●川窪千壽、早崎理、竹井正好、大澤雄二、金井淳、河内邦彦、杉村佳愛



b. 業務効率化
担当役員 ★鶴巻真一、古川伸也
実行主体 プロセス改革WG、ナレッジマネジメントG
実行者 ●早崎理、竹井正好、川窪千壽、大澤雄二、金井淳、河内邦彦、杉村佳愛



最終更新日：2020年12月23日 最終更新者名：古川 伸也

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
□ a. 業務内容の分析とプロセスの改善													
1.現状の業務内容の実態把握と問題の抽出	60%以上	問題抽出作業開始											
2.業務効率化項目の投資対効果検証	着手中	施策の検証 検証結果の報告											
3.施策のメニュー化と実行計画の策定	60%以上	施策のメニュー化											
4.ソフトウェアの開発等の改善施策の実行	着手中	外部委託先の提案開始											
□ b. 業務効率化													
1.作成頻度の高い資料作成の自動化等の検討	着手中	名刺管理ツール検討 施策項目洗い出し ツール検討 AI議事録検討											
2.PIチームによる会議運営ルール of 改革	着手中	施策検討											
3.成果効率を高く評価する仕組み・社風の構築	着手中	評価手法・システム開発 新人事制度との整合 WG検討会議											
4.現業外での日常の無駄の見直しと効率化	着手中	着手 WG検討会議 施策検討 コロナにより見直し											
		< >											

4-1 グローバルマーケットに対する営業戦略の策定と実行

関連戦略 **7-1**



目的

日本企業の海外進出(アウトバウンド)や海外企業の国内進出(インバウンド)のグローバルマーケットの調査・分析結果をもとに新たな「グローバル戦略」を策定し、NCMのグローバルビジネスへの強みをさらに高める。

【関連トピックス】

2020/06 海外マーケット情報2020版 発行

2020/09 日建設計海外業務推進マニュアルの発行

2020/06 NCMグローバル戦略2021 発行

担当役員	★服部裕一
実行主体	CR戦略会議、国際PJ担当G
実行者	●石橋誠、阿部芳久、 酒藤幹雄、岡本猛、 佐々木康貴、松岡秀典



最終更新日：2020年12月23日 最終更新者名：服部

2020年

[illegible]

4-2 グローバル人材の確保と組織整備

関連戦略 [1-4](#) [5-3](#) [5-4](#) [6-5](#)



目的

グローバルビジネスの継続的な実施と将来的な拡大発展を目指し、国内外で活躍できるグローバル人材の確保と、今後の社会のグローバル化動向に迅速に追従できる柔軟な組織の整備を行う。

【関連トピックス】
イオフィスとの連携強化を開始
設置とあり方の検討開始

日建設計タ
グローバルPMの

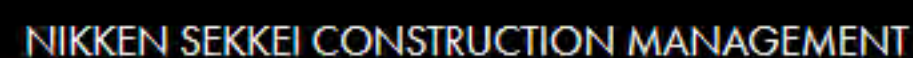
担当役員	★服部裕一
実行主体	CR戦略会議、国際PJ担当G
実行者	●佐々木康貴、阿部芳久、石幡誠、清藤幹雄、岡本猛、松岡秀典



最終更新日：2020年12月23日 最終更新者名：服部

2020年

[illegible]



[HOME](#) / [アクション進捗状況](#) / [戦略5フラットで柔軟な組織づくりと人材育成](#)

5-1 マネジメントコンサルティングファーム型組織の構築

関連戦略 **5-2** **5-3**



目的

さらなる成長を支えるために、重層化やセクショナリズムといった組織の硬直化を取り除いたプロジェクト志向のフラットな組織構成と、プロジェクト・CR・人事管理の3ラインによる柔軟な組織運営を実現する。

担当役員
実行主体
実行者

★田中康範
経営企画会議
●杉浦智也、橋本直
樹、早崎理、山本健
二、阿部芳久、柳谷拓
巨、岩阪聡一郎、川窪
千穂、去川順子



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

[illegible]

HOME / アクション進捗状況 / 戦略5 フラットで柔軟な組織づくりと人材育成

5-2 マネジメントコンサルティングファームにふさわしい人事制度の改定

関連戦略 5-1 5-3



目的
コンサルティングファーム型組織にふさわしい職階・職能の見直しと、それに伴う人材の再配置、多様な能力や働き方を評価する人事制度への改定を実施する。

担当役員
実行主体
実行者
★田中康範
経営企画会議
●山本健二、阿部芳久、櫛谷拓巨、去川順子



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.人事制度の改訂	60%以上		検討着手				中間報告			改定準備			
										社内説明			最終説明会
2.外部コンサルタントからの助言	60%以上	意見交換・助言											

達成度

30%

外部の知見も取り入れた採用プロセスを構築・活用し、業務領域の多様化への対応、適正人材の見極め、組織年齢構成の適正化を考慮した戦略に基づいた採用を実現する。

担当役員 ★田中康範
実行主体 経営企画会議
実行者 ●杉浦智也、山本健二、阿部芳久、櫛谷拓巨、去川順子



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

[illegible]



NIKKEN SEKKEI CONSTRUCTION MANAGEMENT

関連戦略 **3-1**



目的

情報漏洩の多くはヒューマンエラーが原因であり、ヒューマンエラー防止を中心に、基本的な考え方の共有と防止を支援する仕組みをつくる。

担当役員	★田中康範、古川伸也
実行主体	経営企画会議、研修委員会、総務
実行者	●伊藤隆彦、軍司太郎、菅原幸也、今西聡、横田秀和



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

[illegible]



NIKKEN SEKKEI CONSTRUCTION MANAGEMENT

6-1 多様な働き方の実現

関連戦略 **6-2**



目的

働く「場所」「時間」の概念・制度を再構築し、生活スタイルに合わせたストレスのない働き方環境を整備することで、職員の業務への高い生産性と成果を期待する。

担当役員 ★田中康範、水野和則
実行主体 経営企画会議、広報グループ

実行者 ●中田優子、石坪章、
山本健二、櫛谷拓巳、
去川順子、小早川朋
久、坂下哲哉、竹原由
香里、忠快仁、堀口桂
子



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

[illegible]

6-2 ワークプレイス改革

関連戦略 **6-1**



目的

心地よく、また新しい働き方も実践できるワークプレイスを、全社で統一したコンセプト・ガイドラインで展開することで、資産の適正運用と環境改善による職員の業務への高い生産性と成果を期待する。

担当役員	★田中康範
実行主体	ワークプレイスTf チーム、経営企画会議
実行者	●榎本拓幸、石坪章、山本健二、大澤雄二、小田史織、川名敏子、小早川朋久、竹原由香里、忠快仁、堀江愛子、毛利滋英、山畑毅



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.オフィス環境美化	着手中	活動開始、毎月活動											
2.オフィス整備(フリーアドレス化)	着手中	検討着手 保有資料削減(全地区)											
		全地区 簡易フリーアドレス 											
		<div> <div>全社オフィス利用方針検討</div> <div>大阪オフィス リニューアル検討</div> <div>全社研修会で検討</div> </div>											
3.ワークプレイスガイドライン	着手中	NCM Wpガイドライン策定 外部コンサル参画					NCM Wpガイドライン見直し						
4.FM戦略	着手中	検討着手											

6-3 健康活動の支援、福利厚生充実化

関連戦略 **6-4**



目的

健康活動を支援、福利厚生を充実することで、働きがいがある職場醸成と各個人のモチベーション向上を図り、その先の効果として業務への高い生産性と成果を期待する。

担当役員	★田中康範、水野和則
実行主体	程宮企画会議、総務、 広報グループ
実行者	●堀口桂子、石坪章、 山本健二、井上輝郎、 中田優子、去川順子、 小早川朋久、坂下哲 哉、竹原由香里、忠快 仁



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

[illegible]

[illegible]

[HOME](#) / [アクション進捗状況](#) / [戦略6 多様な働き方を促進する環境づくり](#)

6-5 コミュニケーション活性化

[関連戦略](#)
[1-1](#)
[1-2](#)
[1-4](#)
[2-3](#)
[4-2](#)



目的

社内外のコミュニケーションを活発化するためのイベント企画と実施を行う。

担当役員	★水野和則、鶴巻真一
実行主体	広報グループ、新Talks 実行委員会
実行者	1,2,3:●清藤幹雄、佐々木康貴、杉浦智也、中田優子、北条洋寿 4:●石坪章、岩崎成晃、神谷英子、小早川朋久、菅沼茂雄、角田花菜、森山昇一、山畑毅



最終更新日：2020年12月25日 最終更新者名：水野

2020年

[illegible]

HOME / アクション進捗状況 / 戦略7 営業力と発信力の強化

7-1 営業力の強化

関連戦略 1-1 2-5 4-1



目的

全社共通の営業システムを構築する。そのため、営業ハンドブック等のツールを作成し周知する。

CR戦略の方針決定、計画策定、実行を速やかに行う体制をつくる。信用照会、トラブル対応、CS調査等ディフェンス面を強化する。

a. CR行動指針とCR戦略の策定

担当役員 ★服部裕一
実行主体 CR戦略会議
実行者 ●清藤幹雄、阿部芳久、伊藤隆彦、合志貴宏、中田優子



b. CRグループの強化とCR戦略の実行

担当役員 ★平石謙
実行主体 CRG
実行者 ●阿部芳久、清藤幹雄、合志貴宏、中田優子、小田史織



c. CR管理グループの強化とCR行動指針の実行

担当役員 ★平石謙
実行主体 CRG、プロジェクト管理G
実行者 ●中田優子、阿部芳久、清藤幹雄、合志貴宏、小田史織

最終更新日：2020年12月22日 最終更新者名：服部

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
☐ a. CR行動指針とCR戦略の策定													
1. CR行動指針とCR戦略策定と検証	進行完了	2020年の計画策定と実施 の戦略策定											
2. 日建設計CRとの連携強化とNCM独自活動強化	60%以上	2020年の活動推進											
3. 専門性を高めたCR活動の実践	60%以上												
4. CS調査分析に基づく業務改善方針の策定	60%以上							リモートCS					リモートCS
☐ b. CRグループの強化とCR戦略の実行													
1. CR責任者の採用	進行完了												
2. CRグループの体制整備・計画の実行	進行完了	CR戦略会議の計画を実行											
3. CS調査の実施	進行完了												
4. 新規顧客開拓に向けた全社的活動	60%以上	対象先をCR戦略会議で確定 CR戦略会議の計画を実行											
☐ c. CR管理グループの強化とCR行動指針の実行													
1. NCM営業ハンドブックの作成	進行完了												
2. CR管理グループの体制整備・役割の明確化	進行完了												
3. CS調査管理及び分析	進行完了												

7-2 発信力の強化

関連戦略 1-1 6-4



目的
発展する50億円企業にふさわしい広報体制の構築と戦略の策定、実施を行う。

- a. アクティブな広報室の構築

担当役員 ★水野和則

実行主体 広報グループ

実行者 ●北条洋寿、清藤幹雄
- b. 広報戦略(対内外)の策定と実施

担当役員 ★水野和則

実行主体 広報グループ

実行者 ●北条洋寿、清藤幹雄、中田優子、佐々木康寛、榎本拓幸、杉浦智也、中田優子、金井淳、吉岡優一、若松伊代、田中美奈子
- c. 社会貢献活動の広報

担当役員 ★水野和則、田中康範

実行主体 経営企画会議、広報グループ、総務

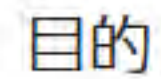
実行者 ●北条洋寿、清藤幹雄、中田優子、佐々木康寛、榎本拓幸、杉浦智也、中田優子、金井淳、吉岡優一、若松伊代、田中美奈子



最終更新日：2020年12月22日 最終更新者名：水野

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
□ a. アクティブな広報室の構築													
1. 広報活動の検証と新体制の提案	進行完了	2020年体制（金井、古岡、田中（美）→IN、早崎（敬）、坂下→OUT）											
□ b. 広報戦略(対内外)の策定と実施													
1. 広報戦略（社内外）の策定、実施	進行完了	2019年策定戦略の遂行											
□ c. 社会貢献活動の広報													
1. 情報収集と検討	進行完了												
2. 経営企画会議と制度化検討	着手中	経営企画会議とともに検討						経営企画会議の制度運用に合わせ情報発信検討					
		た研修参加：京都大学ESG研究会2019.12/9（阿部、廣野）、2020.1/28（平石、北条）、2/						京都大学ESG研究会2020.10/7（水野、					
		CSR方針策定・公開						CSR関連活動の情報整理・発信					
3. 新規事業と調整、区分け	着手中	新規領域開拓チームとともに検討						2020/11/6					
		「あるべき森林創成」をテーマに検討						CSR活動として情報発信検討					



担当役員	★田中康範、水野和則、平石謙
実行主体	経営企画会議
実行者	●山本健二



2020年